

# 芽室町二十歳と祝う会



## 聞いてみました！ はたちの夢や目標は？

夢や希望に満ちた二十歳！

今年二十歳を迎えた皆さんは、今どのような夢や目標を持っているのでしょうか。当日にインタビューし、スケッチブックに書いていただきました。

「うーんと考え込んでしまうのかと思いきや、ご協力いただいたみなさんほとんどが、サラサラっと書き上げてくれました。中には「書いてもいいですか？」と立候補してくれる方も！

とっても頼もしい二十歳の皆さんでした。



▲寺町 和成さん



▲高橋 大和さん



▲山内 巴菜さん



▲竹内 悠真さん



▲口田 諒さん(右)

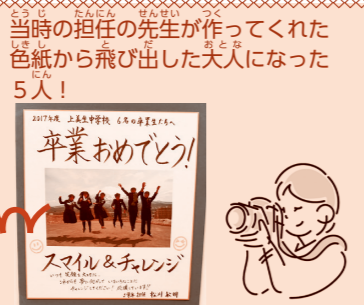


▲三輪 昇輝さん



2017年度卒業の上美生中学校の皆さん6人のうち5人が集合！

(左から)折笠礼奈さん、藤田帆花さん、三輪昇輝さん、伊藤和馬さん、吉澤早絵さん。上の写真で目標を語ってくれた三輪さんは、当時、愛知県から山村留学をし、上美生で過ごしていたそう。この日も上美生のほしぞらハウスに宿泊でした。



撮影時のみマスクを外していただきました。



▲町民憲章を宣誓する流田さん



▲はたちの誓いを宣言する寺町さん、藤田さん

撮影時のみマスクを外していただきました。

**記念すべき第1回**  
1月8日(日)。澄み渡る青空のもと、令和5年第1回芽室町二十歳を祝う会が、めむろーどを会場に挙行政行されました。昨年4月に民法が改正され、成年年齢が18歳に引き下げられたことから、「成人式」ではなく、「従来通り20歳」という節目を祝う祝賀行事として二十歳を祝う会に名称を改め開催記念すべき第1回となりました。

**はじけるような笑顔**  
色鮮やかな振袖や袴、真新しいスーツを身にまとった二十歳の164人が、大人としての大きな一歩を踏み出しました。

昨年同様、新型コロナウイルス対策として、時間短縮や保護者の臨席なし等の制限を設けた開催とはなりましたが、中学時代の恩師が見守るなか、弾けるような笑顔で旧友や先生との久々の再会を心から楽しんでいる様子が伺えました。

**決意を新たに**  
二十歳の皆さんを代表して、流田愛加さんが「芽室町民憲章の宣誓」を、寺町和成さんと藤田華緒さんが「はたちの誓い」を町長の前で堂々と宣言し、大人としての自覚と責任を新たにしていきました。

**新しい時代を切り開く力強さ**  
新型コロナウイルスに翻弄されながらも、社会人や進学、就職といった新しい道を切り開いている皆さん。インタビューにも前向きに夢を語ってくれた皆さんからは、新しい時代を切り開く力強さと大人としての自覚を強く感じました。ふるさと芽室町は、これからも皆さんを心から応援しています。

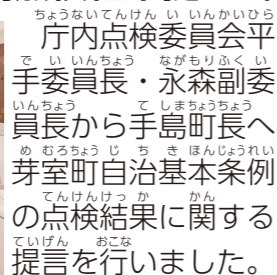
まちのうごき

みんなのひろば

1月12日


ちょうちょうしつ  
町長室

め むろちょう じ ち き ほんじょうい てんけんけつ か ていげんしき  
芽室町自治基本条例点検結果提言式



4年を超えない期間ごとに、条例を点検しなければならぬと定められており、役場の職員14名で点検委員会を組織、北海道大学公共政策大学院武藤謙准教授をオブザーバーとしてお招きし、7月～10月まで条例の点検を全5回実施しました。

提言内容は提言書として、町のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



12月<sup>がつ</sup>21<sup>にち</sup>日、27<sup>にち</sup>日

にし お かず のり  
西尾一則さん

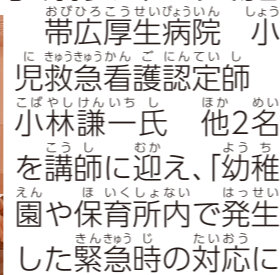
ぜんこくちやうそんかんさ し いんきやうぎ かいちやうひやうしやう ほつか い どうしやかい こうけんしやう じゆしやう  
全国町村監査委員協議会会長表彰と北海道社会貢献賞を受賞



12月16日

めむろーど

め むろちょう ほいく し ごうどうけんしゅうかい じっし  
芽室町保育士合同研修会を実施



どの施設でも救命救急講習は受講しており、  
AEDの使い方や、蘇生方法は学んでいるもの  
の、今回は、実際に事故が起きた際の職員の動  
きについて学びました。

研修を通して、各施設で作成している緊急対  
応のマニュアルが、より実態に即したものとな  
るように、さらに必要な知識を得ることができ  
ました。

2週続けて手島町長へ受賞の報告があり、西尾さんは「これまで共に監査を行ってきた代表監査委員や関係機関の皆さまのご協力のおかげ」「議員だからというよりは、身近な地域の皆さんの暮らしを少しでも楽しくできるように支えられたらという気持ちで続けてきた。このような栄誉をいただけると思っていなかった。芽室町の皆さんのために恩返ししていきたい」と受賞の喜びを話されていました。

さつえい じ はず  
撮影時のみマスクを外していただきました。



あき                  じょく くん

じょく くん

き けんぎょう む じゅう じ しや じょく くん

ぎょう む

じ　し　や

< h

秋の叙勲 危険業務従事者叙勲  
を芽室町からお二人が受章

## ●叙勲(じょくん)とは

70歳以上か、所定の条件に該当する55歳以上で、国家や公共事業、社会に功勞のあった方などが対象となります。今回お二人が受章した「瑞宝章(ずいほうしょう)」は長年にわたり公務などに従事し功績を挙げた場合に授与されるもので、家内さんは学校保健功勞として、また、北さんは消防功勞として、ともに「瑞宝双光章(ずいほうそうこうしょう)」を授与されました。

● 春秋叙勲と危険業務従事者叙勲

家内さんに贈られたのは、年に2回行われる春秋叙勲で、春は4月29日に、秋は11月3日に発令されます。北  
さんに贈られたのは、危険業務従事者叙勲という、警察、自衛官、消防など危険性の高い業務に精励した方に贈  
られる叙勲です。

瑞宝双光章がっこうほけんこうろう（学校保健功劳）受章



仲間<sup>なか</sup>の皆<sup>みな</sup>さんのおかげ

家内典夫さんは昭和49年から現在まで、実に49年もの間、町内小中学校の児童・生徒たちの学校歯科医を務めています。現在も、昭和51年に開院した家内歯科医院で地域の皆さんのお口の健康を守りながら、学校歯科医を続けています。

約半世紀、子どもたちの歯を診続けてきた家内さんは「啓発活動や保護者の皆さんの頑張りで、たしかに子どもたちの虫歯は減っている。一方で、あごの力は心配。食べ物に気を付けて、丈夫な歯を維持してほしい」と呼びかけます。

今回の受賞に際しては「妻の支えや芽室町歯科医師会の先生方のご協力のもと、これまでも続けることができ、大変感謝しています」とコメントをいただきました。

家族や職場の皆さんに感謝

した。  
 在職中に印象に残っていることを伺うと、平成28年夏の台風のことや、管理体制強化に努められたことを挙げ、勝管内の消防広域化として、とがち広域消防事務組合への切り替えに携わることができたことは財産。当時、芽室消防署は少ない人数で職務に当たっており、体制増強に向けて動き回ったことが思い出されます」とお話ししてくださいました。

受章に際しては「支えてくれた妻や職場の皆さまのおかげで、このような栄誉をいただくことができ、感謝しています」とコメントをいただきました。

瑞宝双光章ずいほうそうこうしょう (消防功勞)しょうぼうこうろう 受章じゅしょう



昭和33年生まれ、元とかち広域消防事務組合消防指司司令長(芽室消防署長)。現在は、芽室町内で週に数回ごみ収集の仕事に従事し、汗を流している。[町中をごみ収集で回ること、いろいろな変化を感じられ、日々、勉強になります]と充実した表情。

さつえいじ はず  
撮影時のみマスクを外していただきました。